

(白老町) 公衆無線LAN環境整備支援事業・事業の概念図

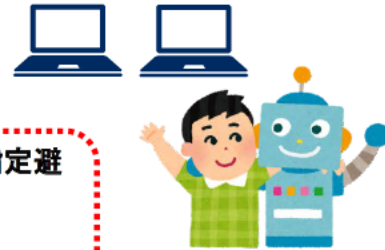
目的

・発災時～避難所開設～避難所移転・集約～避難所閉鎖までの期間を通じ、地域住民の避難行動、避難所での情報支援を行う

事業の概要

・自治体の持つ災害関連情報の提供、緊急事態時の重層的なインターネット接続手段の一環を提供することを可能とし、防災・減災に資する地域防災計画の一要素とする。

既設電子黒板の利活用をはじめ、教師用PCの整備や教育用AIロボットの導入等、町単費での環境整備も組み合わせ、平時の教育環境でも最大限に整備効果を発揮



白老小学校、白老中学校、萩野小学校、白翔中学校、竹浦小学校、虎杖小学校(指定避難所 6校)にアクセスポイント65台設置



白老町総合体育館、白老町中央公民館、総合保健福祉センター(指定避難所 3か所)にアクセスポイント8台設置



避難情報や
防災情報の
提供

国・道の象徴空間整備の動きと連携し
「民族共生象徴空間」整備に伴うPR等
平時の利用活用の推進を目指す
また民間事業者と連携し広告等の検討も行う

仙台藩白老元陣屋資料館(博物館)にアクセスポイント1台設置



白老町役場

無線LAN
コントローラ

IRU事業(平成22
年度)で整備した光
ファイバー網を活用

点線の枠内が
補助対象として
申請するもの



2020

